

パルシシステム神奈川の
地域連携・居場所づくりについて

2024年7月30日
パルシシステム神奈川

パルシステム神奈川における総合福祉のありたい姿

3. 福祉たすけあい活動

組合員活動、地域団体、協同組合などと連携した活動によって、地域の人たちを元気にし継続的に組合員の困りごとや、ニーズにこたえ、相互扶助の生協活動がすすめられています。

5. 食を通じた様々なニーズ

安心安全な「食のお届けを通じて個々の世帯の生活環境や世代のニーズに対応した事業と活動が展開しています。



1. 地域諸団体との連携推進

パルシステムの資源や強みを活かし、地域にセーティーネットの輪を拡大しています。

2. 福祉事業の推進

在宅支援を中心に高齢者支援が広がり、居住系サービスの整備も併せて展開しています。

介護保険事業のほかに、障がい者支援事業、子育て支援事業に取り組みます。

4. 人材の育成と福祉の視点での就労支援

すべての役職員が総合福祉に進んでかかわります。

障がい者や社会から孤立している人たちの就労と社会進出が行われています。

地域連携推進は「ありたい姿」実現のための重要な取り組み！

地域諸団体との連携推進

生協施設や地域団体との「居場所づくり」

(1) 生協の施設すべてを「居場所づくり」の対象として考える

配送センター、ふらっとパル、福祉事業所、ステーションパル

当組合が運営するだけでなく、

地域団体※が運営している居場所に関わること

地域団体に当組合の施設を開放し居場所として活用してもらうことによって、くらしの課題解決をすすめる

※市民活動応援プログラム団体

「居場所づくり」には子ども食堂、コミュニティカフェなどを含む)



地域諸団体との連携推進

ステーションパル活用、協定締結など

(2) 商品供給事業をきっかけに地域の困りごとを解決

ステーションパルを拡充したコミュニティづくりや

買い物困難地域への対応、 配送エリアの地区社会福祉協議会

やNPO法人との連携など



※ステーションパル: 組合員宅への通常配送とは別に、決まった場所

(ステーション)で商品を受け取ることができるサービス

ありたい姿の実現に向けた取り組み

1. 地域諸団体との連携推進

- (3) **地域見守り協定などの締結で関係性構築**
買い物支援、居場所づくり、生活困窮者の支援など
地域課題に対して
社会福祉協議会や地区社会福祉協議会へ提案型の訪問

横須賀市との「防犯協定」
および「地域の見守り活動
に関する協定」の調印(2022
年3月)



つながりある
地域づくりを
応援しています

福祉総務課地域力推進係
☎822-9804

生活支援コーディネーター

「顔を合わせる、気兼ねなく話す、思いを分かち合う、
支え合う」そんな地域づくりを一層考えるのが、私
たち生活支援コーディネーターです。皆さんの地域へ
の思いを聞かせてください。
支え合い活動についても、お問い合わせください。

本市の魅力動画を動画でお届け
よこすかMOVIE
「よこすかのつながりある一日」

今月は、ラジオ体操や公園清掃などを通
じた地域のつながりを紹介します。



地域諸団体との連携推進

配送センターの地域連携、インフラをいかしたくらし支援

(4) 配送センターと自治体、地域諸団体との連携をすすめる

⇒ 社会福祉協議会や地区社会福祉協議会にアプローチするなど、

地域課題やニーズを把握

当組合の人材やインフラをいかし、

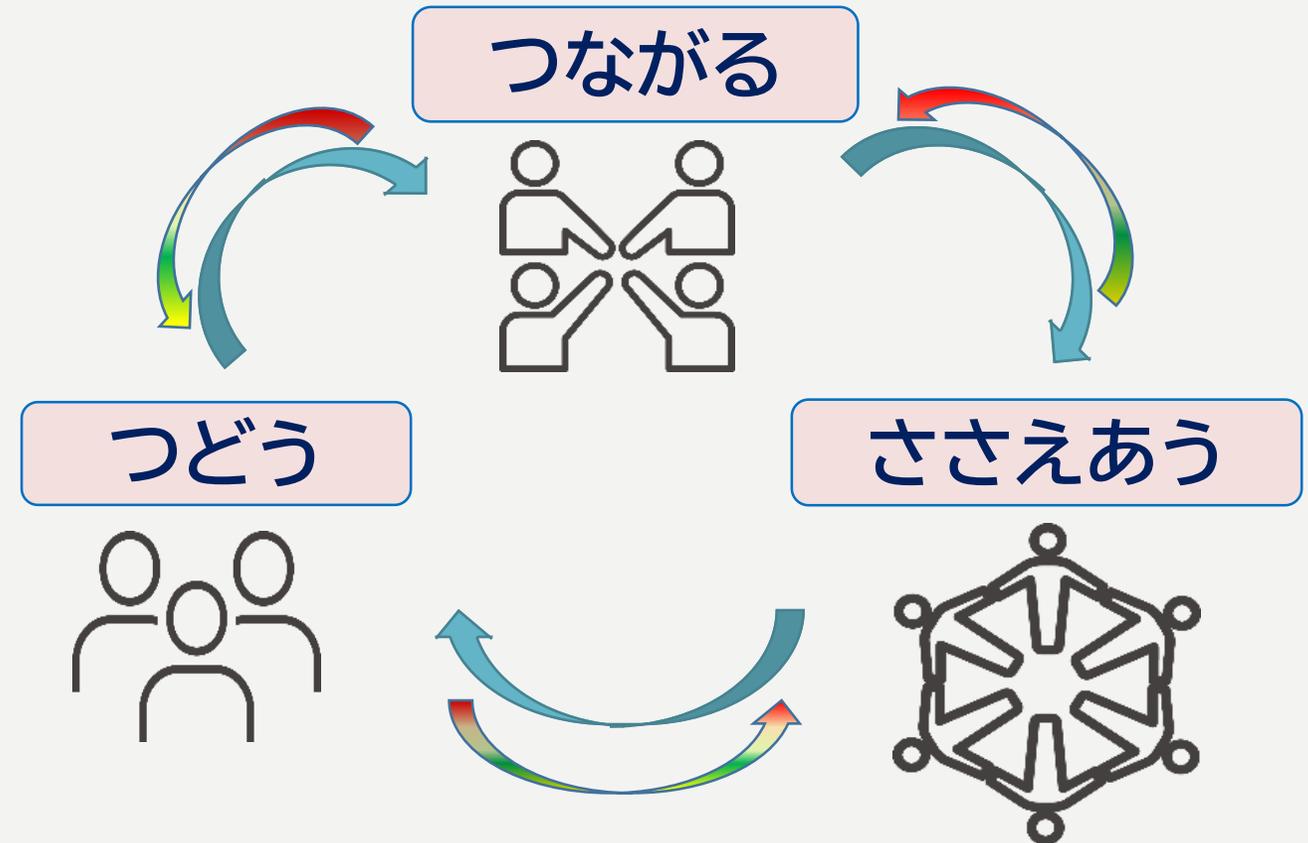
組合員や地域の方々が安心してくらししていけるよう支援

⇒ くらし助け合いゆいねっと、介護ヘルパー、ケアマネジャー、配達担当など

パルシシステム神奈川の居場所のイメージ

「つどう」「つながる」「ささえあう」が実現できる場所

- 一人で過ごすこともできる
- だれかと「つどう」ことで、関係性が生まれ「つながる」
- 「つながる」ことにより「ささえあう」
- 「ささえあう」ことから「つどう」
- 居場所で実現できることが相関し、地域にひらかれた場



ひろがる居場所づくり



パルシステム神奈川の居場所づくり



配送センターでの居場所づくり

川崎市麻生区 「みんなでゆっくりCAFE♪」麻生センター

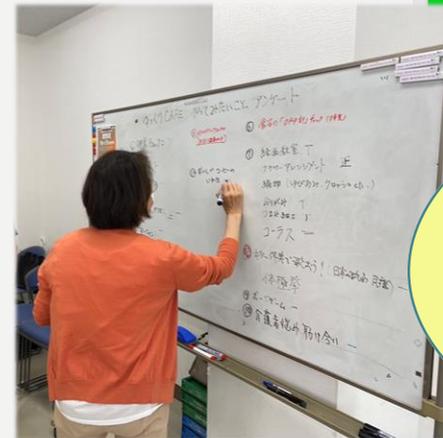
配送センターを活用した地域の居場所 2023年6月より月1回開催

行政、地域団体の協力

地域包括支援センター
生活支援コーディネーター
地域の住民と会議を行い
企画の方向性や内容を協議決定
麻生区の講師派遣・広報



麻生区地域支援課
新百合地域包括支援センター
柿生アルナ園地域包括支援センター
看護小規模多機能 支え合い
小規模多機能施設あさお
セントケア看護小規模ゆりがおか
おれんじあさお



参加者から「やってみたい
こと」を募り、要望をもと
に毎月の企画を実施

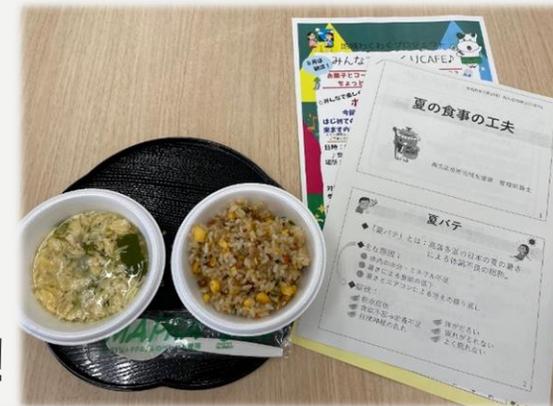
みんなでゆっくりCAFE 麻生

月替わりの企画

◆気軽におしゃべり



◆パルシステム商品の試食



◆かんたん調理講座



◆ボッチャに挑戦!



◆防災食講座



◆座ってできる体操



カフェ参加者から
組合員加入も

今後の
展望と課題

区から要望があり健康マージャンも別日程でスタート(2024年1月~)

配送センターでの居場所づくり

横浜市・230Cafe×鶴見センター

- ・2023年9月 地域ケアプラザと連携して認知症サポーター養成講座を開催
参加者構成：組合員、地域住民、ケアプラザ職員、ヤクルト販売員



認知症カフェとして「みんなでゆっくりCAFE」を毎月開催

11月「認知症について話そう」をテーマに開催。

2024年2月「ハンドクリームづくり」開催 10名参加

鶴見センター、地域ケアプラザ、230カフェ、地元の自治会の連携で運営

地域連携による
「ふらっとパル」運営の
モデルケースに！



今後の
課題と展望

センターの認知度向上、外国人の子育て・高齢化や孤立

認知症サポーター養成講座



配送センターでの居場所づくり

相模原市 番田わくわく子ども食堂 相模センター

地域の子育て中のパパやママや子どもたちに、愛情いっぱいの手作り弁当を食べてもらって人も地域も元気にしたい！



初回2023年9月は
お弁当50食を準備。
販売開始わずか20分で
完売



来場する子ども
たちと紙ひこうき
飛ばし大会

相模センターの職員、元役職員、地域住民、高校生が運営協力、近隣の農家や企業が食材提供



今後の
課題と展望

メンバーの自主的な運営、食材の確保や継続性、参加者の交流

衣類交換会 大和センター

センターが居場所としての認知度向上
地域課題解決の場になるきっかけづくり

- 2023年8月：衣類交換会、子どもの遊び場・試食イベント
51家族152人が参加
広報効果（チラシ、近隣保育園への掲示等）あり
- 11月：市民活動応援プログラム助成団体連携開催
54組119人1件加入(外国籍の方)
外国籍の方は数名来場



衣類交換会 大和センター

2024年度：子育て交流を中心に居場所づくり

7月15日（祝）10:30～13:00

衣類交換会・絵本の読み聞かせ（近隣の市民団体の協力）

プロカメラマンによる親子撮影会

8月...食を通じたくらしの課題解決

子育て層向け時短料理（料理体験＋試食）

9月...参加者にヒアリングして解決策の提案企画を検討する。



今後の
課題と展望

近隣の就労支援B型事業所との連携、大和市こども部など関連部署との関係性構築

地域ケアプラザとの連携 横浜菅田センター

- 2023年12月 地域ケアプラザの生活支援コーディネーターと意見交換
職員対象の認知症サポーター養成講座、
子育て支援の取り組み をセンターで行うことを合意

- 2024年2月 近隣の子育て団体と連携して、
離乳食・幼児食講座開催
- 現在、近隣の子育て支援団体の活動拠点として、
当組合の施設を提供できるよう協議中。



今後の
課題と展望

子育て層課題だけでなく、高齢者の買い物困難者の支援と生活支援も大きな地域課題。
当組合のサービス（高齢者向けカタログや家事支援活動など）で関われないか。

地域のまちづくり団体との連携 **横浜南センター**

●横浜市金沢区「あしたタウンラボ 金沢シーサイドタウン」

◆運営：一般社団法人金沢シーサイドあしたタウン

◆当組合との連携：健康チェック、横浜市委託事業の子育て広場で離乳食を紹介。

2024年1月 書道体験企画を開催

横浜南センター職員が講師（書家）多世代が参加

横浜南センターの施設活用の検討

・地域団体『リトルbyリトル』より、横浜南センターの保育室の施設見学。

※リトルbyリトル：発達に遅れのあるお子さんを遊ばせながら、保護者の方々がさまざまな思いをお話してできるフリースペース



今後の
課題と展望

子育て広場だけでなく、多世代の企画なども行いながら組合員加入や活動につながれるとよい。

健康チェックの会

◆南林間地区たすけあい協議会

毎月2回開催 地域住民による自主運営 昨年度延べ477名の参加

◆あしたタウンラボ(横浜市金沢区) 昨年度延べ226名の参加

地域ケアプラザに、運営主体となる人材育成を相談



富岡東地域ケアプラザとの共催 健康塾連続講座 12名参加 (内 組合員 1名)

あしたタウンラボ「健康チェックの会」ボランティアに5名が登録

⇒ 2名がボランティアデビュー ⇒ 定着に課題

今後の
課題と展望

健康チェックボランティアの組織化

健康測定をきっかけにした地域のつながりづくり

健康チェックの会

川崎医療生活協同組合と初めての共催イベント

- 2023年7月 第1回モルック&健康チェックの会 大師公園芝生広場
- モルックの体験と健康チェック（血圧・血管年齢・体組成計・握力・足指力）96人参加
- 組合員ボランティアは、当組合1名、川崎医療生協20名の参加協力。
- 第2回目「モルック&健康チェックの会」、9月 FUSOグリーンガーデンで開催。



健康チェックの会

「ふらっとパル茅ヶ崎」の運営ボランティア：

⇒ くらし福祉課題活動サークルの結成にいたった。



「パルちが健康応援団」

今後の
課題と展望

ふらっとパル茅ヶ崎は今年度で閉鎖。今後の活動参加について、丁寧にフォローしながら自走チームの組織化をすすめていく

衣類交換会

●大倉山元気の泉保育園／保護者向け夏イベント
(2023年7月29日)

園児・保護者を対象「夏のお楽しみ会 おやこでSDGs」として「衣類交換会&世界の虫大集合」に出店。



●NPO法人フードバンク浜っ子南／
とつかっこ夏まつり(2023年8月5日)

戸塚区地域子育て支援拠点 とつこの芽主催のイベント。
特定非営利活動法人フードバンク浜っ子南と連携し”0円バザー”として出店



市民団体応援プログラム団体との連携

- 小児がん支援「一般社団法人みんなのレモネードの会」 × **横浜中センター**
 - ・ 7月29日「みんなレモサマーフェスティバル」

小児がん患児家族の立場から小児がん啓発活動、患児やその家族の交流会



- 「たまプラーザ みまもりあいプロジェクト」 × **横浜北センター**

- ・ 認知症の当事者や家族がかたりあうオンライン交流会
サテライト会場のひとつとして横浜北センター施設



生活協同組合パルシステム神奈川と相模原市との包括連携に関する協定

・【協定における連携内容】

(1)地域産業の活性化(2)健康づくり・食育(3)子育て支援・教育(4)地域福祉の振興 (5)地域の安全・安心(6)買い物支援(7)環境(8)防災・減災対策や災害時支援(9)人材交流(10)市民主体の社会づくり(11)情報発信(12)その他地域社会の活性化及び市民サービスの向上

【協議している主な取組】

- ・働く場の提供として、高校生や児童養護施設など、生活が困難なためのアルバイト等を希望している方へ、配送拠点で働く場を提供
- ・地域で安心安全に暮らせるために、配達先の家だけでなく、配送途中においても不審者がいないかなどの地域見守り活動の実施
- ・商品の配達の際に、消費者被害防止法に係る啓発チラシを一緒に配布するほか、消費生活展への出展などを通じて、消費者被害防止に係る啓発の実施



日本大学生物資源科学部 食品ビジネス学科 川手ゼミ 谷米ゼミ

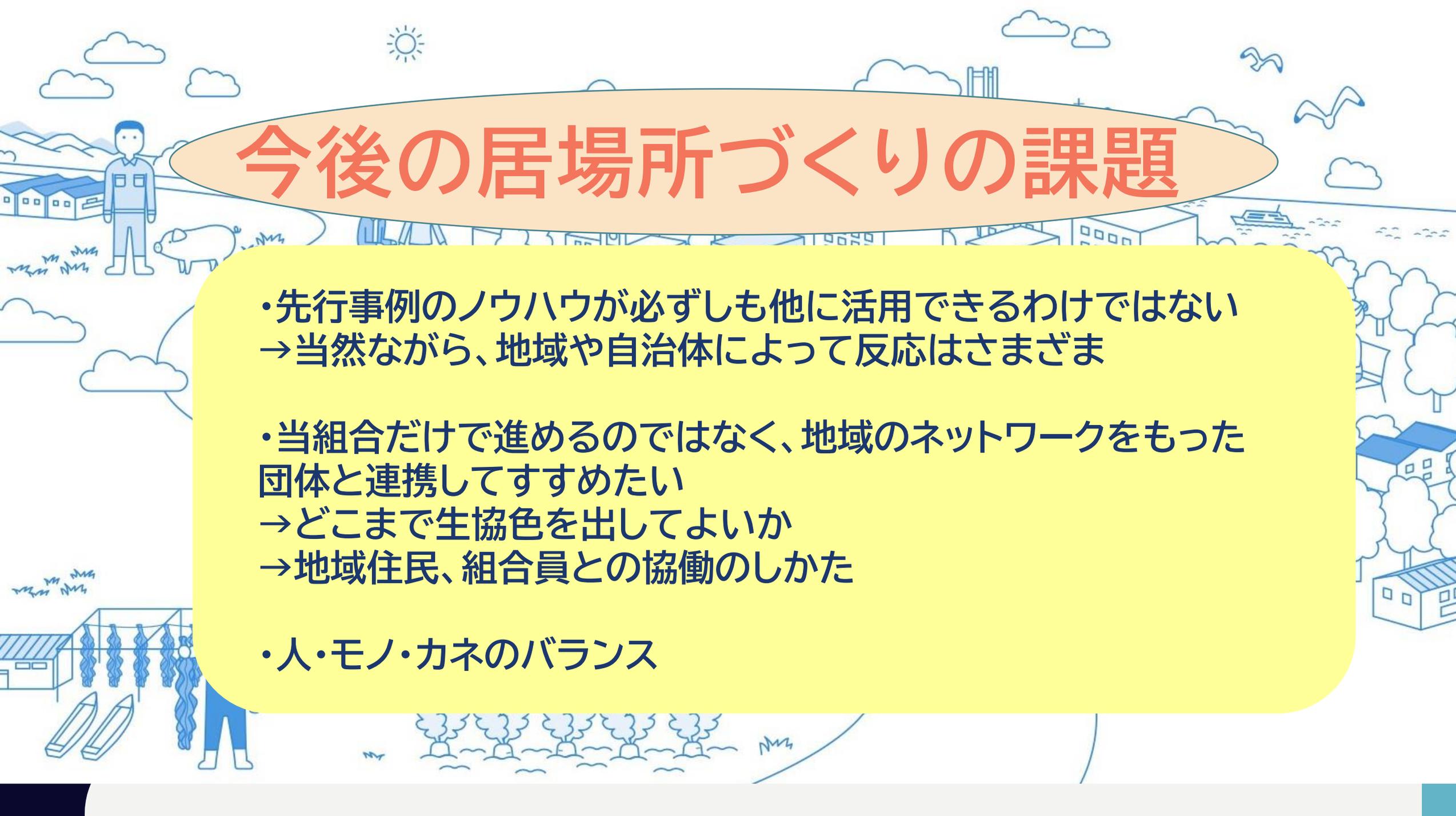
生産者・メーカーの食の課題をゼミ生が研究
レシピ提案や料理教室などを実施



神奈川大学経営学部 山岡ゼミ

「つながろう大豆ボランティア」の
運営にゼミ生が参加





今後の居場所づくりの課題

- ・先行事例のノウハウが必ずしも他に活用できるわけではない
→当然ながら、地域や自治体によって反応はさまざま
- ・当組合だけで進めるのではなく、地域のネットワークをもった団体と連携してすすめたい
→どこまで生協色を出してよいか
→地域住民、組合員との協働のしかた
- ・人・モノ・カネのバランス



食を通じた
暮らし支援



地域見守り

パルシステム神奈川がめざす
だれもが認めあい、ともにいきる地域づくり

地域と連携



居場所づくり

福祉事業

助け合い活動



ご清聴ありがとうございました

